

検討の観点と内容の特色

書名	Power On English Communication I, II, III	教番	2 東書・CI 702, CII 702, CIII 702
項目	観 点	内容の特色	
内 容 の 選 択・程度	<ul style="list-style-type: none"> * 学習指導要領の教科の目標を達成するため必要な教材が適切に用意されているか。 * 基礎的・基本的事項の理解や習得のため適切な配慮がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○CIでは、基本的事項（「語順」の違い／自動詞と他動詞／「名詞のかたまり」の語順／説明を加えることば／文構造）をPre-Lessonで取り上げている。また、新出の文法事項は1パートに1つに絞っていて、学習者と実際の指導の実態に適切に配慮されている。 ○教材は、CIでは「日本文化」「生物」「環境」「異文化理解」など、CIIでは「歴史」「人権」「科学技術」など、CIIIでは「教育」「自然科学」「言語・国際社会」など、特にSDGsに対応した多様な題材がバランスよく選択されており、興味・関心をもって学習が進められるように配慮されている。 	
組 織 ・ 配 列・分量	<ul style="list-style-type: none"> * 内容の組織・配列は、学習指導を有効に進められるように考慮されているか。 * 分量は学習指導を有効に進められるように考慮され、精選されているか。 * 中高の接続に対する配慮がなされているか。 * 弾力的な取り扱いに対する配慮がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教材バランス、全体的分量も適切であり、コラム、補充教材、付録も充実しており、機能的で充実した授業展開ができるよう配慮されている。 ○本課数10課（1学期4課、2学期4課、3学期2課）であり、年間指導時数から見て余裕をもって指導できるよう配慮されている。また、CIの前半部は、文型・文法事項の復習としている。 ○各課は、写真資料などからの導入、理解・演習、整理・発展の順に編集されており、効率的に学習できるよう配慮されている。特に本文は一般的な授業の流れに沿ってパート分けにしており、使いやすく、学習効果が上がるように工夫されている。 	
表 記 ・ 表 現 及 び 指 導 対 する 工 夫 や 配 慮	<ul style="list-style-type: none"> * 学習意欲を高めるための配慮がなされているか。 * 用語・記号の取り上げ方や記述のしかたは適切か。 * 生徒の自学自習への配慮や工夫がなされているか。 * 指導書や周辺教材での工夫や配慮がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全ページフルカラーであり、メリハリのきいた紙面構成とあいまって学習意欲が高められるよう配慮されている。 ○用語・記号は統一されており、記述の仕方も適切である。 ○教科書を支援する指導書や周辺教材などが充実しており、指導しやすい教科書である。 	
印 刷 ・ 造 本 上 の 配 慮	<ul style="list-style-type: none"> * 印刷の鮮明さ、活字の大きさ、行間、製本などは適切か。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文字は鮮明で美しく、写真、イラストも鮮明で効果的である。製本も堅牢である。また、開きやすい様式である。 ○写真やイラストの色使いなど、色覚特性への配慮を含むユニバーサルデザインとなっており、全ページにわたって配色を工夫するなど、だれも見やすい紙面になっている。 ○本文の用紙には再生紙と植物油インキを使用し、地球環境や資源に及ぼす影響も考慮されている。 	
総 合 所 見	<ul style="list-style-type: none"> * 上記観点から見た、全体的・総合的な当教科書の特徴。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のポイントを押さえた機能的な単元構成の工夫、魅力のある題材、指導時数を考慮した分量など、使いやすく、標準的な生徒の英語力を確実に向上させるバランスのとれた教科書である。 	